



寺ネット・サンガ通信 第22号

寺ネット・サンガ事務局 〒146-0082 東京都大田区池上1-19-10 永寿院内
Fax 03-3751-0533・メール info@teranetsamgha.com

仏に成る

寺ネット・サンガ代表 吉田尚英

仏教は「仏に成るための教え」であり、誰もが「仏に成れる」と説かれた教えです。

「成仏」とは「煩惱を断ち、悟りを開くこと」とあります。

人間の苦の原因とされる煩惱の根源は、「食・瞋・痴(とんじんち)」の三毒です。自分勝手に欲しいものを「食欲(とんよく)」・思い通りにならないと怒り散らす「瞋恚(しんい)・小事にこだわり周りが見えなくなる「愚痴(ぐち)」。

この三つの毒は、自分自身を滅ぼすだけでなく、他者も巻き込み、ときには大きな戦争まで引き越すことになりかねません。



私たちの心の中には三毒という持病があるのです。

一方、三毒に対する抵抗力として、よりよく生きようとする心「仏に成ろうとする心」も私たちは持ち合わせています。この抵抗力を高め、三毒を抑える薬が仏さまの教えです。

病状や生活習慣は人それぞれ、薬もさまざま、そこでいろいろな宗派や教義が生まれたのです。

医師は仏さま、お寺は病院と薬局、僧侶は薬剤師のようなものです。

お釈迦さま・阿弥陀さま・大日さま・薬師さま等々の諸仏が説かれた処方箋を、題目や念仏や座禅という飲みやすい丸薬にしてお届けするのが僧侶です。

薬はただ飲んだだけで効くわけではありません。

その効用を理解して、心と体に行き渡らせ、世の中の全てが幸せになるようにと、常に努力を続けることで、ほんとうの仏に成ることができるのです。

一人でくじけそうになったときには、お互いに支え合う仲間も必要です。

寺ネット・サンガは、各宗派の僧侶に出会える場所です。

寺ネット・サンガのイベントでは、いろいろな宗派のお寺を訪ねます。

自分に合った薬を求めて、いくつものお寺を訪ねてみてください。

「仏さまに成ろうとする心」を活性化させて、三毒を抑え、お互いに支え合い、皆で仏に成りましょう。



昨年度の行事

コロナ禍でも工夫をしながら下記のイベントを開催しました。



令和4年10月17日（月） 坊コン 「お寺がなくなったら…」

儀礼の簡素化や供養の多様化が進む中、もし、お寺がなくなったらどうなるか？何が起きるのか、僧侶・葬儀関連業者・一般人という立場を超えてメンバーで話し合いました。「情報発信の方法と内容を検討し、幅広い世代にお寺の存在について伝える必要がある」「心のよりどころとして存在し続けてほしい」など、お寺を応援する意見が目立ちました。



令和4年12月13日（火） 坊コン「墓じまい それぞれの思い」

お墓が「片付けるもの」「しまうもの」とされ、経済的負担・心理的負担、さらにマスコミの情報も相まって墓じまいが加速されているように感じます。いつものように立場を超えたメンバーで意見交換をしました。「お墓は故人とつながる場所であり、事情によって『墓じまい』されたとしても故人への思いは変わらずにいて欲しい」という方向に集約されました。



令和5年2月4日（土） お坊さんと初もうで

1月にはとても混雑する明治神宮に、立春正月の2月お坊さんと一緒に10名ほどでお参りをしてきました。参加者の中には明治神宮が初めてという方もいて「東京にこんな静寂な森があるんですね」と驚いたようです。明治神宮は明治天皇崩御後の1920年に創建されました。100年余りでこれほど豊かな森に育つことに感嘆し、ゆっくりと歩きながらよいひと時を過ごせました。



令和5年4月21日（水） サンガの遠足「坊コン「武蔵国分寺跡を訪ねて」

奈良時代をしのび、武蔵国分寺跡・国府跡等を訪ねる小旅行です。西国分寺駅を出発、東山道武蔵路の遺構を見学しながら国府跡を訪ね、府中の大國魂神社へと3時間ほど歩きました。国分寺市学芸員の先生にご案内をいただき、汗ばむほど晴れた午後のひと時、遠く奈良時代の仏教文化へ想いを馳せながらの遠足でした。



令和5年6月28日（水） 坊コン「AIと問答」

昨今話題のChatGPTに「AIは心を持つことができますか？」「AIは仏になれますか？」など仏教に関する質問を試みました。すると、それらしい回答がなされましたが、データの羅列のような文章に違和感を覚えました。AIは刻々とデータを蓄積し、将来はもっと洗練された回答が出来るようになるでしょう。果たしてAIは人間の倫理観や宗教観にまで踏み込むようになるのでしょうか？



令和5年8月30日（水） 暑気払い「お坊さんと町中華」

食べ放題・飲み放題の町中華の店で暑気払いを行いました。会食の機会も増える中、節度を持って楽しく語り合えることの「ありがたさ」も味わいました。